

国際保全パートナーズ

UAPACAA

Unified Action for Promoting Animal Conservation in Asia and Africa

Maison Allouette A-4

1461-265 Nagae, Hayama-machi, Miura-gun, Kanagawa 240-0113, Japan

Phone: +81(70)4486-6609

2017年度事業報告

法人の名称 NPO法人UAPACAA国際保全パートナーズ

1 <まとめ> 各事業活動方針にかかる報告

1. 初年度は、(公財)日本モンキーセンター(JMC)国際保全事業部からの「霊長類の生息地保全」活動の引き継ぎを確実に行う。

・(公財)日本モンキーセンター国際保全事業部からの、引き継ぎ活動費の移管手続きは7月19日に完了し、寄付金8,780,857円を受領した。

・カメルーン現場との連携:事務局長の岡安が、南東カメルーンの野生動物と森林保全、地域コミュニティ支援のJICAプロジェクト現地スタッフとして、ヤウンデに7月24日から赴任した。ロベケ国立公園のゴリラ・ツーリズム振興と密猟対策支援の継続について、現地WWFのプロジェクト関係者と協議を継続している。JMCからの移管予算に加え、当法人でも活動支援に向けた、車両購入のためのクラウドファンディングを検討する。

・コンゴ民主共和国(DRC)現場との連携:現地WWFのボノボ保護プロジェクト・マネージャーが離任したので、次年度活動計画における協働の検討は後任の着任を待つ。

・ブータン現場との連携:今期支援活動は、JMCの支援期間である2018年12月末まで継続する。7月20日過ぎに、ブータンのプロジェクト・マネージャーが来日し、以前からの支援者が自主交流会を企画した。岡安も参加したところ、UAPACAAへのご支援のお申し出もいただき、入会のご案内をすることになった。

2. 活動対象とするアフリカやアジアの生物多様性保全上の重要地に関する、国内での広報体制を整備する。

ウェブサイトとSNSからの情報発信を連携させ、広報体制を組み立てるべく、Weebly(<https://www.weebly.com/home/>)のビジネスサイトにwww.uapacaa.orgのドメインを立ち上げた。このサイトは、オンラインショッピングページの構築、会員のオンライン入会手続きなどを行うことができる。ただ、岡安のカメルーン赴任に伴い、カメルーン国内のネットワークの信頼性の問題で、Weeblyサイトが閲覧できず、公開に至っていない。

3. 次年度の特例認定NPO法人認可申請に向け、会員の獲得など準備を整える。

UAPACAAの本拠である葉山町における夏のイベントなどで、会員勧誘チラシを配布した。また前述のブータンのプロジェクト・マネージャー来日に合わせた交流会で、20人ほどのブータンファンの方と知己を得た。今後、ウェブサイト開設やオンライン会員制度の構築に合わせ、勧誘を行っていく。

2 個別事業内容に関する報告

(1) 特定非営利活動に係る事業

① アフリカ熱帯雨林の保全と野生動物保護支援に関する事業

ア カメルーン共和国南東部州の大型類人猿と生物多様性の保全活動

・内 容

1. ロベケ国立公園の大型類人猿エコツーリズム振興支援

ゴリラとチンパンジーの同時人づけを試行し、エコツーリズム展開可能性を検討する

- ・ 8月19日～25日にケニヤ・ナイロビで開催された、第17回国際霊長類学会大会で

「POTENTIAL AND CHALLENGES OF GREAT APE SEMI-HABITUATION IN LOBEKE NATIONAL PARK, CAMEROON」

のタイトルで、新たなエコツーリズム開発の可能性を発表し、専門家からの意見収集を行う

(WWF カメルーンの協同研究者が代行)

- ・ JMCからの移管予算(2017年度残予算2,243,750円)をベースに、現状、ロベケ国立公園プロジェクトにもっとも重要な、ランドクルーザー購入資金の調達を現地と検討している。

(2) その他の事業に関する報告

① 書籍の出版・販売

ア 出版事業

- ・ 内 容 DRCバリ地区のボノボとコミュニティに関するHP連載の出版企画
- ・ 日 時 通年
- ・ 場 所 日本国内
- ・ 従事者人員 1人(理事および正会員の協力)
- ・ 受益対象者 なし(来期に継続)
- ・ 支出見込額 0円

出版事業については、前ページ「1<まとめ> 2.」にあるウェブサイト構築の遅れのために、発信媒体を整えられず、今期は手を付けていない。

2017年度予算に関しては、決算報告書を添付する。

以上